

MAKE THE
WORLD SEE

Milestone Systems

XProtect® Web Client 2021 R1

ユーザーマニュアル



目次

著作権、商標、および免責条項	4
概要	5
XProtect Web Client	5
要件と注意事項	6
受信音声の再生条件	6
プッシュ・トゥ・トーク使用のための要件	6
ダイレクトストリーミングの要件	7
設定	8
設定	8
ダイレクトストリーミング（説明付き）	9
アダプティブストリーミング（説明付き）	10
カメラの録画の管理（説明付き）	10
録画および調査の保存期間と保管（説明付き）	11
受信音声の再生(説明付き)	11
プッシュ・トゥ・トーク（説明付き）	12
デジタルズームと光学ズーム（説明付き）	13
操作	15
ログイン	15
ホームページの概要	17
カメラの検索	18
カメラに移動する	19
ライブビデオを見る（説明付き）	20
ライブモードで受信音声を再生	23
1つのカメラのライブビデオでプッシュ・トゥ・トークを使用	24
ライブビデオ内の複数のカメラに音声を配信する	25
1台のカメラから録画を再生する	25
ビデオ録画における音声の再生（説明付き）	28
複数のカメラからの録画映像（説明付き）	30

再生するビデオの時間を指定する	32
再生をオンまたはオフにする	34
再生する映像から、必要のないカメラを削除できます。	35
調査エリア内のカメラ（説明付き）	35
調査タイムラインの使用（説明付き）	36
1つかそれ以上のカメラで調査を作成する	37
カメラを既存の調査に追加	39
既存の調査からカメラを削除する	42
調査を更新または削除する	43
映像のエクスポートとダウンロードを準備する	44
XProtect Web Clientページの共有（説明付き）	46
アラームを表示	47
アクションの有効化	48
PTZコントロール	49
デジタルズームの使用	50
光学ズームの使用（カメラが光学ズームをサポートしている場合）	51
アップグレード	52
XProtect Web Clientのアップデート	52

著作権、商標、および免責条項

Copyright © 2021 Milestone Systems A/S

商標

XProtectはMilestone Systems A/Sの登録商標です。

MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。AndroidはGoogle Inc.の商標です。

本文書に記載されているその他の商標はすべて、該当する各所有者の商標です。

免責条項

このマニュアルは一般的な情報を提供するためのものであり、その作成には細心の注意が払われています。

この情報を使用することにより発生する危険の責任はすべてその使用者にあるものとします。また、ここに記載されている内容はいずれも、いかなる事項も保証するものではありません。

Milestone Systems A/Sは、事前の通知なしに変更を加える権利を有するものとします。

本書の例で使用されている人物および組織の名前はすべて架空のものです。実在する組織や人物に対する類似性は、それが現存しているかどうかにかかわらず、まったく偶然であり、意図的なものではありません。

この製品では、特定の契約条件が適用される可能性があるサードパーティ製ソフトウェアを使用することがあります。その場合、詳細はお使いのMilestoneシステムインストールフォルダーにあるファイル3rd_party_software_terms_and_conditions.txtを参照してください。

概要

XProtect Web Client

XProtect Web Clientを使用して以下を実行：

- Webブラウザでライブビデオとビデオ録画を表示する
- ライブビデオとビデオ録画において受信音声と送信音声を再生する
 - 1つのカメラからライブビデオを見ている時にプッシュ-トゥ-トーク(PTT)機能を使用する
 - ライブモードで複数のカメラに音声を配信する
 - 再生モード時に受信音声と送信音声を再生する
- 調査を作る
- 受信音声と送信音声付き/なしのビデオエクスポートダウンロードする
- ビデオ監視システムでイベントを起動するアクションを起こす
- 様々なイベントで引き起こされたアラームのビデオを確認します。

要件と注意事項

受信音声の再生条件

あなたのカメラからインカム音声を聞くには、以下が必要です:

- マイクがカメラに付随していること



お使いの監視システムにおけるカメラがマイクを付随している場合、追加の設定は必要なく、音声を再生することができます。カメラツールバーにおける音声アイコンは、音声機能が有効かどうかを表示します。

- ユーザー権限が不十分です



入ってくる音声機能へのアクセスは、ユーザー権限によって制限されることがあります。ご不明点がある場合は、システム管理者に確認してください。

プッシュ・トゥ・トーク使用のための要件

モバイルデバイスを通じ、VMSシステムのカメラのインカム音声を聞くには、以下を保持していなければなりません:

- スピーカー付きカメラ
- ご利用のコンピュータ付属のマイク



インターネットブラウザがあなたのPCマイクにアクセスするのを許可しなくてはなりません。

- ユーザー権限が不十分です



ユーザー権限によってはプッシュ-トゥ-トーク(PTT)機能へのアクセスが制限されることがあります。ご不明点がある場合は、システム管理者に確認してください。

- 安全なインターネット接続 (HTTPS)



プッシュ・トゥ・トーク(PTT)機能はInternet Explorer 11ではサポートされていません。

ダイレクトストリーミングの要件

XProtect Web Client は、ライブモードでのダイレクトストリーミングに対応しています（XProtect ExpertおよびXProtect Corporateのみ）。

ダイレクトストリーミングを使用すれば、最大で100本以上のライブビデオをフルHD 30 FPSで同時にモニタリングできます。この機能を使用するには以下が必要です。

- H.264コーデックに対応しているカメラを使用する
- ダイレクトストリーミング機能をXProtect Web Clientで有効にします（[ページ8の設定](#)を参照）。

詳細については、[XProtect VMS管理者マニュアル](#)を参照してください。

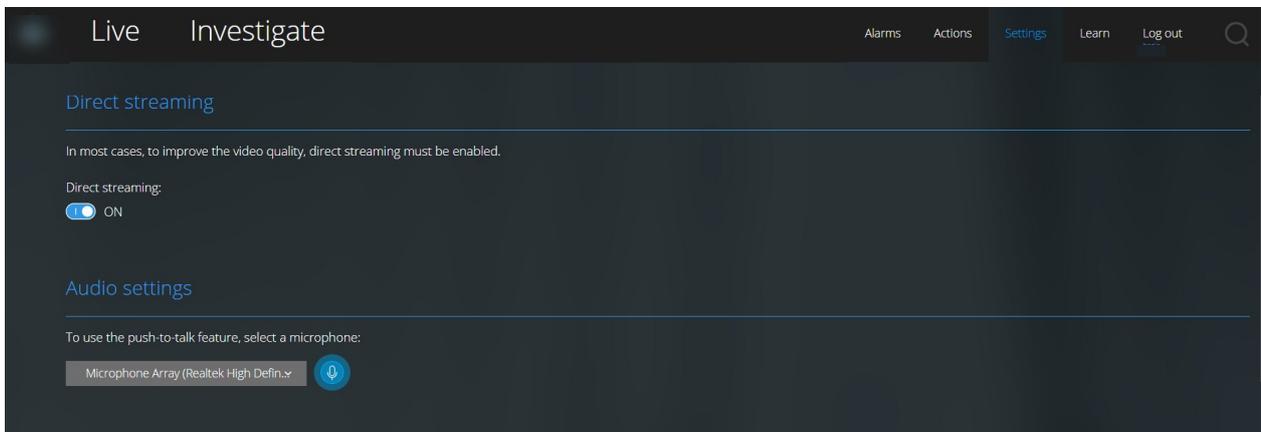
設定

設定

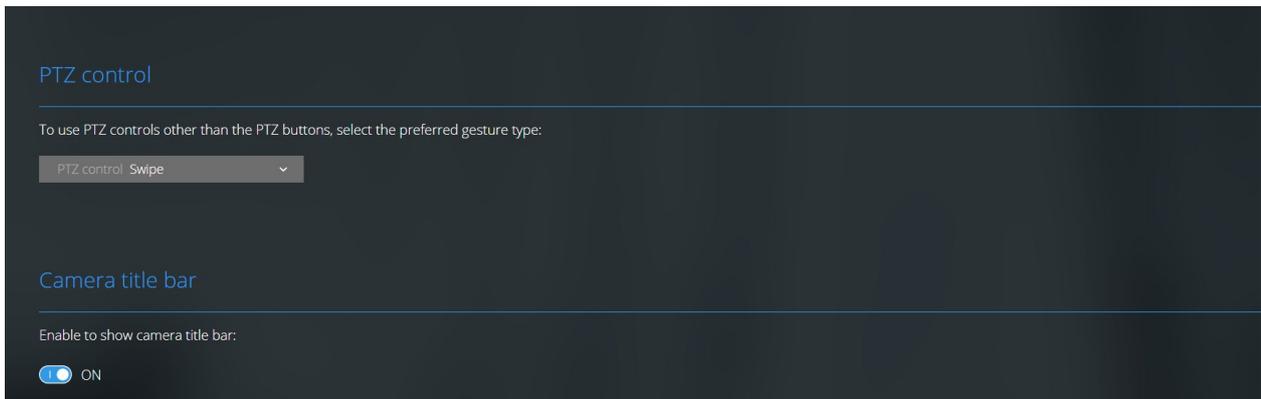


「XProtect Web Clientをできるだけスムーズに実行させるにはどうしたらよいですか？ また、PTZカメラを動かす他の方法が知りたいです。」

[設定] タブで：



- **ダイレクトストリーミング** - ダイレクトストリーミング機能を有効にできます（XProtect ExpertおよびXProtect Corporateのみ）。この機能はデフォルトで有効になっています（[ページ9のダイレクトストリーミング（説明付き）](#)を参照）
- **音声設定** - XProtect Web Clientがプッシュ・ツー・トーク（PTT）機能で使用するマイクを選択します。プッシュ・トゥー・トークアイコンの点滅は、関連音声デバイスの使用準備が整ったことを表します。



- **PTZコントロール** - PTZボタンが有効でない場合は、PTZコントロールについてご希望のジェスチャーを選択します（[ページ49のPTZコントロール](#)を参照）
- **カメラタイトルバー** - この設定を有効にすると、カメラのタイトルバーが表示されます
- **ビデオ診断オーバーレイ** - この設定を有効にすると、選択したビューでビデオストリームのFPS（1秒あたりのフレーム数）、コーデック、解像度、ストリーミングのタイプが表示されます。この機能では、情報がビデオのオーバーレイとして表示されるため、ビデオストリームに関連したXProtect Web Clientの問題や、ローカルパフォーマンス問題のトラブルシューティングの役に立つことがあります。
- **使用データ** - この設定を有効にすると、使用データが提供されます。収集された使用データのリスト（すべて）は、「[プライバシーポリシー](#)」と示されたリンクにアクセスしてご確認ください。

システムをEU GDPRに準拠するインストールにしたい場合は、データ収集を有効にしないでください。詳細については、[GDPRプライバシーガイド](#)を参照してください。

ダイレクトストリーミング（説明付き）

XProtect Mobileは、ライブモードでのダイレクトストリーミングに対応しています（XProtect ExpertおよびXProtect Corporateのみ）。

ダイレクトストリーミングは、H.264コーデック形式のビデオをXProtectシステムからクライアントに直接転送するためのビデオストリーミング技術です。これは、多くの新型IPカメラでサポートされています。ダイレクトストリーミングにはトランスコーディングは不要なため、XProtectにかかる負荷の一部が軽減されます。

ダイレクトストリーミング技術は、（XProtectシステムにより、ビデオがカメラで使用されるコーデックからJPEGファイルへとデコードされる）XProtectのトランスコーディング設定とは対照的です。この機能を有効にすると、カメラとビデオストリーミングの設定を変更することなくCPU使用率が軽減します。ダイレクトストリーミングはまた、同一のハードウェアのパフォーマンスも向上させます（トランスコーディングと比較して最大で5倍の量のビデオストリーミングが可能）。

XProtectWebClientでは、ダイレクトストリーミングは単一カメラビューとグリッドビューの両方で使用できます。

ビデオストリームは以下が発生するとダイレクトストリーミングからトランスコーディングにフォールバックします。

- ダイレクトストリーミング機能がManagement Clientで無効にされたか、要件が満たされていません（[ページ7のダイレクトストリーミングの要件](#)を参照）
- ストリーミングカメラのコーデックがH.264ではありません
- ビデオを10秒間以上にわたって再生できない
- ストリーミングカメラのフレームレートが1秒あたり1フレーム（1 FPS）に設定されています
- サーバーとの接続、またはカメラとの接続が失われました
- ライブビデオ中にプライバシーマスク機能を使用している

アダプティブストリーミング（説明付き）

XProtect Mobileは、ライブモードでのアダプティブストリーミングに対応しています（XProtect ExpertおよびXProtect Corporateのみ）。

アダプティブストリーミングは、カメラの同一ビューで複数のライブビデオストリームを閲覧する場合に便利です。この機能はXProtect Mobileサーバーのパフォーマンスを最適化し、XProtect MobileクライアントとXProtect Web Clientを実行しているデバイスの復号化能力とパフォーマンスを改善します。

アダプティブストリーミングを活用するには、カメラに解像度の異なる複数のストリームを設定する必要があります。この場合、この機能によって以下が可能となります。

- ビデオ画質の最適化 - 利用可能なもっとも低い解像度（要求したものと同等またはそれ以上の解像度）を持つストリームが選択されます
- サーバーパフォーマンスの最適化 - 要求された解像度を低下させた後、使用可能なもっとも低い解像度（低下したものと同等またはそれ以上の解像度）を持つストリームが選択されます
- 低帯域幅用に解像度を最適化 - 利用可能なもっとも低い解像度を持つストリームが選択されます（3Gまたは不安定なネットワークを使用している場合に推奨）



ズーム中に要求されるビデオストリームは、常に利用可能なもっとも高い解像度を持つものとなります。



帯域幅の使用はたいいてい、要求したストリームの解像度が下げられるのに併せて減少します。帯域幅の使用は、定義したストリーム構成の他の設定にも依存します。

詳細については、[XProtect VMS管理者マニュアル](#)を参照してください。

カメラの録画の管理（説明付き）

カメラビデオおよび音声録画の管理には、次の選択肢があります。

- **[ライブ]**タブでは、以下のことができます。
 - 特定のカメラから録画を再生する。
 - ビデオ録画の受信音声と送信音声を再生します（[ページ28のビデオ録画における音声の再生（説明付き）](#)を参照）
 - 再生したい録画の時間を指定する。選択したカメラに、指定された時間が適用されます。

- [調査]タブでは以下を実行できます。
 - 1つまたは複数のカメラからの録画を再生または調査する。



調査モード内で、調査を作成せずに録画を再生したい場合、全カメラの録画映像を、現在のビューでいつでも同時再生できます。

- ビデオ録画または調査に録音された受信音声と送信音声を再生する。
- 再生または調査したい録画の時間を指定してください。指定された時間が、特定のビューに含まれる、または調査に追加されたすべてのカメラに適用されます。
- 録画の時間帯を指定し、詳細な開始日および終了日および時間を設定できます。
- 以下のように、保存された調査を管理することができます。状態を更新する、カメラを追加または削除することで設定を編集する、調査を削除する、または録画をエクスポートおよびダウンロードする。



録画をシステムデータベース内に適切な期間、確実に保存するため、ニーズに合わせて保存期間を設定してください（[ページ11の録画および調査の保存期間と保管（説明付き）](#)を参照）。

録画および調査の保存期間と保管（説明付き）

ビデオ録画の保存期間はXProtect Management Clientで使用できる設定で、システムデータベースに録画を保存する期間を決められます。初期設定の保存期間は7日間です。保存期間またはデータベースの最大容量を変更したい場合は、システム管理者に問い合わせてください。保存期間を過ぎると、録画映像は削除されます。

[ライブ]タブおよび[調査]タブでは、保存期間の設定で設定された日数を経過していない録画映像を再生できます。

録画映像が削除されないようにするには、[調査]タブで調査を作成する必要があります。調査を作成すると、録画映像がシステムデータベースから削除されていても、その映像を再生、エクスポートおよびダウンロードできます。

XProtect Management Clientでは、システム管理者はモバイルサーバーに調査を保存する期間を定義できる調査保存期間の設定を有効にすることも可能です。初期設定の保存期間は7日間です。この設定を有効にすると、保存期間の前に作成されていた調査はすべて、削除されます。

調査が削除されるのを防ぐため、ビデオのエクスポートを準備し、お使いになっているコンピューターに調査をダウンロードできます。

受信音声の再生(説明付き)

XProtect Web Client次の場合に入力オーディオをサポートします：

- ライブビデオを閲覧します（[ページ20のライブビデオを見る（説明付き）](#)を参照）
- ビデオ録画を再生します（[ページ10のカメラの録画の管理（説明付き）](#)を参照）

受信音声は以下でも再生できます:

- 調査 (ページ35の調査エリア内のカメラ (説明付き) を参照)
- ビデオエクスポート (ページ44の映像のエクスポートとダウンロードを準備するを参照)
- アラーム (ページ47のアラームを表示を参照)
- アクション (ページ48のアクションの有効化を参照)

プッシュ・トゥ・トーク (説明付き)

プッシュ・トゥ・トークとは、PCのマイクからVMSシステムを介して1つ以上のカメラの近くにいる人とコミュニケーションを取ったり、複数の音声装置付きビデオカメラへの音声配信を始めることができる機能です。また、記録した会話を再生モードで再生したり、ビデオエクスポートの準備中に双方向音声記録を音声パッケージに含めたりもできます。

XProtect Web Clientはプッシュ ツートーク (PTT) 機能に対応しています。

- 1つまたは複数のカメラからライブビデオを見ている時 (ページ20のライブビデオを見る (説明付き) を参照)
- ビデオ録画に録音された送信音声再生の間 (ページ28のビデオ録画における音声の再生 (説明付き) を参照)
- 調中査およびビデオのエクスポート中
- アクションで (ページ48のアクションの有効化を参照)
- アラーム (ページ47のアラームを表示を参照)



インターネットブラウザがPCマイクにアクセスすることを許可しなくてはなりません (ページ6のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件を参照)。

プッシュ・トゥ・トーク (PTT) 機能を使用できる場合は、カメラツールバーにプッシュ・トゥ・トークボタンが現れます。そのアイコンは以下の状況を表しています:

アイコン	説明
 (使用可能)	ライブモードで、プッシュ・トゥ・トーク (PTT) 機能が使用でき、使用条件をすべて満たしていることを示します。プッシュ・トゥ・トークをスタートするにはクリック & ホールド。音声の送信を終了するには、ボタンをリリース。

アイコン	説明
 (アクティブ)	ライブモードで、現在プッシュ・トゥ・トーク (PTT) 機能が使用中であることを示します。ビデオカメラのPCマイクとビデオカメラのスピーカーまたはビデオカメラがアクティブな状態である。ブルーのパルスサークルはサウンドレベルを示しています。
 (無効)	ライブモードでは以下が示されます： <ul style="list-style-type: none"> プッシュ・トゥ・トーク (PTT) 機能は利用可能ですが、これを使用するための必須要件を満たしていませんでした (ページ6のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件を参照) カメラスピーカーが使用不能 ハードウェアデバイスが使用不能
	再生モード時に、ビデオ録画の再生中に双方向音声を再生できること、ならびに再生したい音声ソースを選択できることが示されます (ページ28のビデオ録画における音声の再生 (説明付き) を参照)。

ライブモード時のプッシュ・トゥ・トークの割り込みルール

ユーザー権限のレベルに従い (管理者またはオペレーター)、ライブモード中のプッシュ・トゥ・トークセッションには2つの中断ルールがあります。

- ユーザー権限が同レベルのユーザーは互いに割り込んではならない
- ユーザー権限が低いレベルのユーザー (オペレーター) はユーザー権限が高いレベルのユーザー (管理者) に割り込んではならない。

デジタルズームと光学ズーム (説明付き)

デジタルズームを使用した場合：

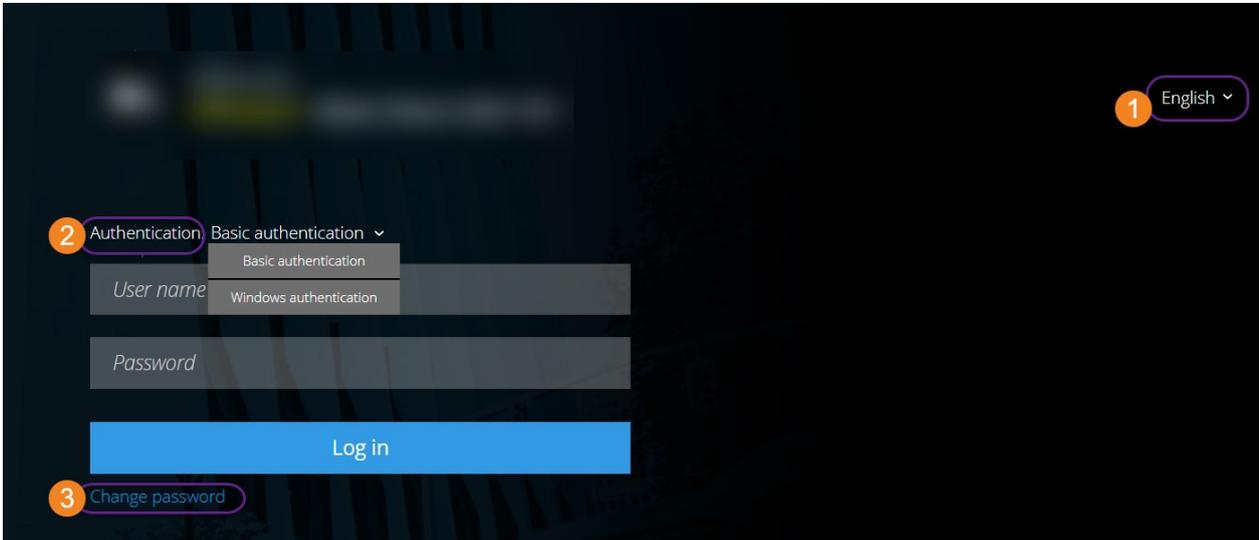
- 画像品質は下がります。ご覧になった画像はピクセル化され、明瞭度が下がります。
- 録画品質に変化はありません。
- 録画のズームレベルに変化はありません。

光学ズームを使用した場合 (カメラが光学ズームに対応している場合のみ)：

- ご覧になる画像品質に変化はありません。
- 録画品質に変化はありません。
- 録画の最中にカメラの光学ズームを使用すると、ご使用のズームレベルが録画にも反映されます

操作

ログイン



初回ログイン



Milestoneでは、ユーザー認証情報を管理する際は安全な接続を使用するようお勧めしています。

1. Webブラウザのアドレスバーに、システム管理者から提供されたインターネットアドレスを入力してください。例：<http://11.2.3.4:8081>または<https://11.2.3.4:8082>。ログインページが表示されます。
2. (オプション) 言語を変更するには、右上コーナーでデフォルトの言語 **1** をクリックしてください。

3. 認証リスト  で、以下の認証方法のいずれかを選択します。

- **基本認証** - このオプションを選択すると、基本ユーザーとしてログインできます。基本ユーザーは、システム管理者によってXProtect Management Clientで定義されます。基本ユーザーとしてログインするには、最初に一時的なパスワードを変更する必要があります。
 1. **ユーザー名とパスワード**フィールドで、システム管理者から提供されたログイン資格情報を入力します。
 2. **ログイン**をクリックします。**パスワードを変更**ダイアログボックスが表示されます。
 3. **続行**をクリックして、新しいブラウザウィンドウを開きます。
 4. **新しいパスワードを設定**ウィザードに表示された指示に従い、新しいパスワードを保存します。
 5. 変更を保存した後、現在のブラウザウィンドウを閉じ、新しいパスワードを使用してXProtect Web Clientにログインします。



次回ログインの際にパスワードを変更するようシステム管理者から強制された場合は、上記の手順に従ってログインします。

- **Windows認証** - このオプションを選択すると、Windowsユーザー認証情報を使ってログインできます
 1. **ドメイン\ユーザー名**および**パスワード**フィールドで、Windowsユーザー認証情報を入力してください。



Windowsユーザー認証情報は、コンピューターまたはドメインに固有です。

- **ログイン**をクリックします。

パスワードの変更



ユーザー認証情報を管理できるようにするには、XProtect VMS 2021 R1以降を使用しなくてはなりません。

パスワードを頻繁に変更すると、XProtect VMSシステムのセキュリティが高くなります。基本ユーザーとしてログインすると、いつでも自分のパスワードを変更できます。対照的に、Windows認証方法を選択すると、システム管理者のみがパスワードを変更できるようになります。

パスワードを変更するには、XProtect Web Client のログインページに移動します：

1. 認証リストで、**基本認証**を選択します。
2. **パスワードを変更**リンク **3** をクリックして、新しいブラウザウィンドウを開きます。
3. **新しいパスワードを設定**ウィザードの指示に従い、新しいパスワードを保存します。
4. 変更を保存した後、現在のブラウザを閉じ、新しいパスワードを使用してXProtectWebClientにログインします。

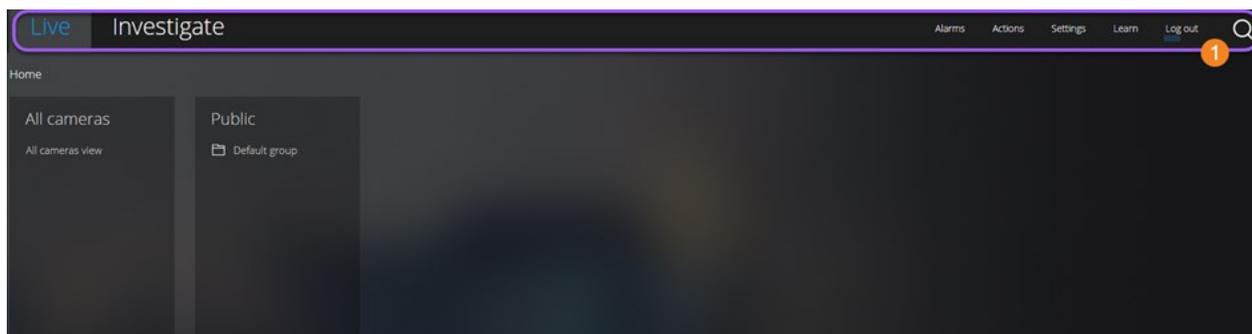


現在のパスワードを忘れた場合は、システム管理者に連絡してください。次回ログインの際にパスワードを変更するようシステム管理者から強制されます。



何度もログインに失敗すると、アカウントはロックアウトされます。ロックアウト時間が切れるのを待つか、システム管理者に連絡できます。管理者はアカウントを再び有効にできるほか、次回ログインの際にパスワードを変更するよう強制する可能性があります。

ホームページの概要



メニュー①内の項目	可能なアクション
XProtect Web Clientロゴ	クリックして、XProtect Web Clientのホームページに戻る。
ライブ	<ul style="list-style-type: none"> • クリックしてビューストラクチャー内の最後のポジションに戻る。 • ライブビデオを閲覧します (ページ20のライブビデオを見る (説明付き) を参照)

メニュー①内の項目	可能なアクション
	<ul style="list-style-type: none"> 単一のカメラからの録画を再生します（ページ25の1台のカメラから録画を再生するを参照）
調査	複数のカメラからの録画を再生します（ ページ30の複数のカメラからの録画映像（説明付き） と ページ44の映像のエキスポートとダウンロードを準備する を参照）。
アラーム	すべてのカメラからのアラームを表示します（ ページ47のアラームを表示 を参照）。
アクション	ドアを開けるなどのアクションを有効にします（ ページ48のアクションの有効化 を参照）。
設定	XProtect Web Clientをカスタマイズします（ ページ8の設定 を参照）。
チュートリアル	チュートリアルビデオをご覧になり、XProtect Web Clientに関する説明をお読みください。
ログアウト	XProtect Web Clientを終了します。
検索	フォルダー、ビュー、カメラを検索します（ ページ18のカメラの検索 を参照）。

カメラの検索

ホームページにおいて：

1. 右上のをクリックします。
2. フォルダー、ビュー、またはカメラの名前を入力します。テキストを入力すると同時に結果が表示されます。

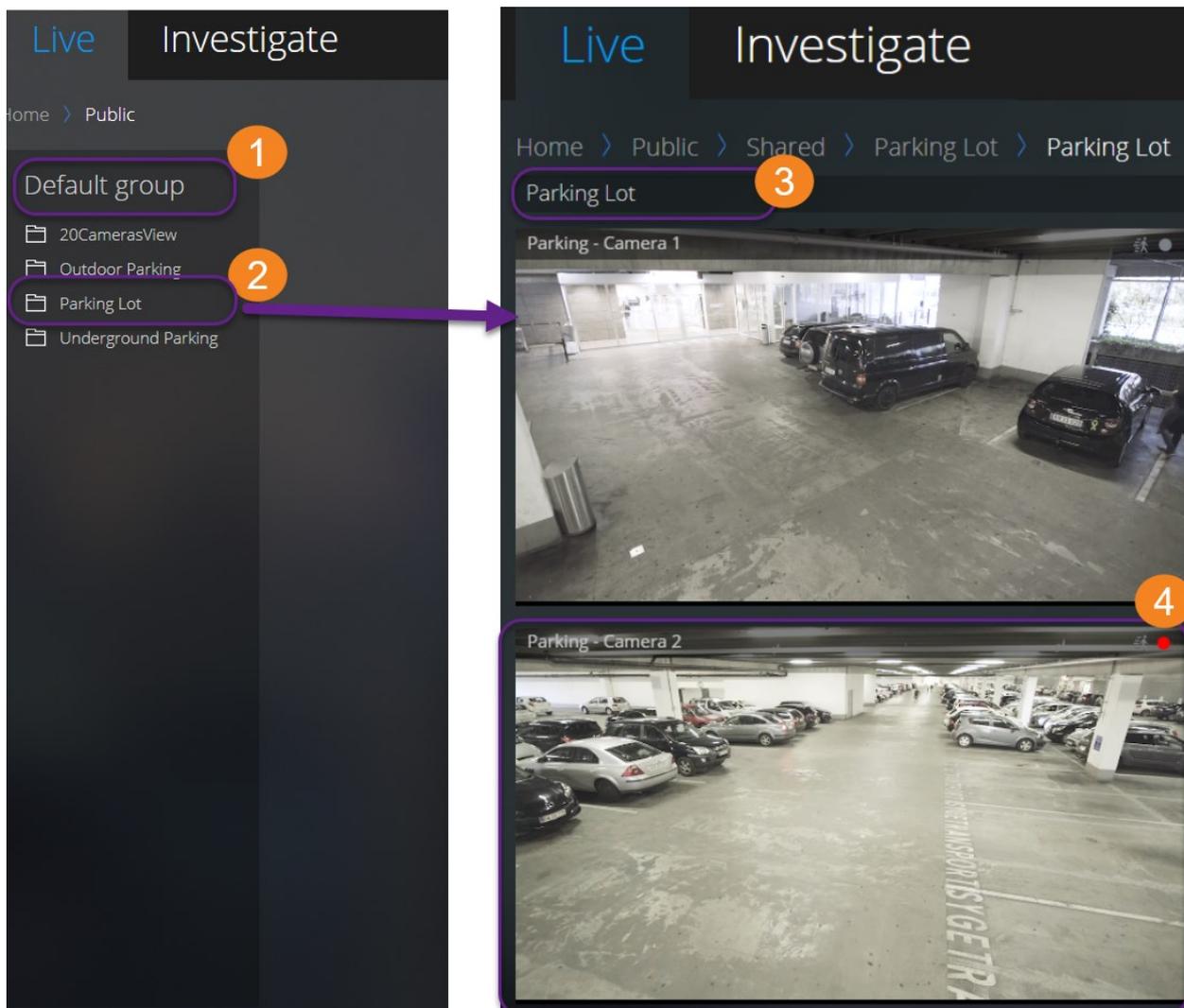
3. ライブビデオの他のオプションについてはカメラをクリックしてください（[ページ20のライブビデオを見る（説明付き）](#)を参照）。



お使いのすべてのPTZカメラを検索するには、「ptz」と入力します。全てのマイク付きのカメラを探すには「audio」と入力します。スピーカー付きのカメラを探すには「ptt」と入力します。

カメラに移動する

ホームページにおいて：



1. フォルダー^①内で、サブフォルダー^②をクリックし、あなたのビュー^③を表示します。
2. ビュー^③で、そのビューにおけるすべてのカメラからのライブビデオを見ます。どのカメラがマイクとスピーカー付きかを見る。

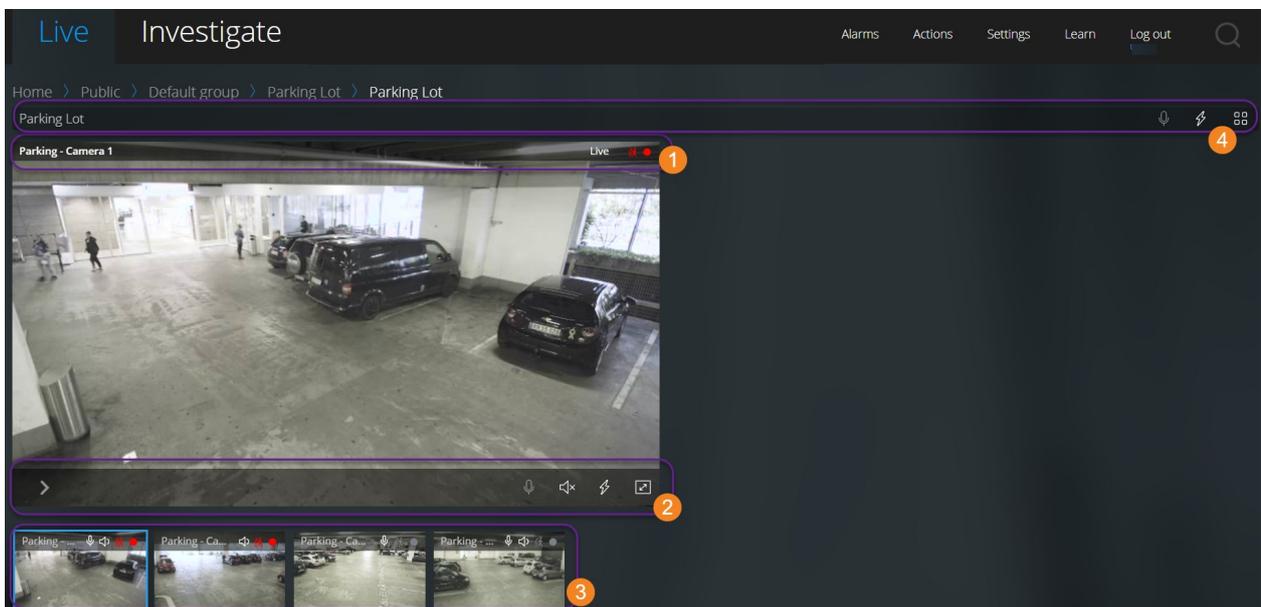
- カメラ④をクリックして、カメラから録画を再生します（ページ25の1台のカメラから録画を再生するを参照）。

ライブビデオを見る（説明付き）



「ライブビデオで可能なアクションは？ また、ビデオの画面右上にある赤と緑の円は何を意味するのか？」

ライブタブでカメラを見つけてクリックします。



カメラのタイトルバー①で：

- カメラの名前を確認します。
- 閲覧中のビデオがライブなのか、再生モードなのかを確認します。
- カメラが動きを検知しているか、ビデオを録画しているか、その両方なのかを確認します。

シンボル	動きが検知されているか？	ビデオが録画されているか？
	⊗	⊗
	☑	⊗
	⊗	☑
	☑	☑

カメラツールバー  で：

アイテム	可能なアクション
	ライブビデオを一旦停止して、録画されたビデオを再生します (ページ25の1台のカメラから録画を再生するを参照)。
	PTZ カメラを動かしズームする (PTZ カメラに限る)。
	PTZ カメラ をXProtect Smart Clientで指定したPTZプリセットポジションに動かす (プリセットされたPTZ カメラのみ)
	カメラの全アクションを表示します。アクションを選択して有効にします。
	全画面にします。Escを再度クリックまたは押して、全画面を終了します。

アイテム	可能なアクション
 	受信音声を聞くのを開始するか停止します（ ページ6の受信音声の再生条件 を参照）。
 	1つのカメラへのプッシュ・トゥ・トークをスタートするには、クリックしたままホールドします。音声の送信を終了するにはアイコンをリリースします（ ページ6のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件 を参照）。

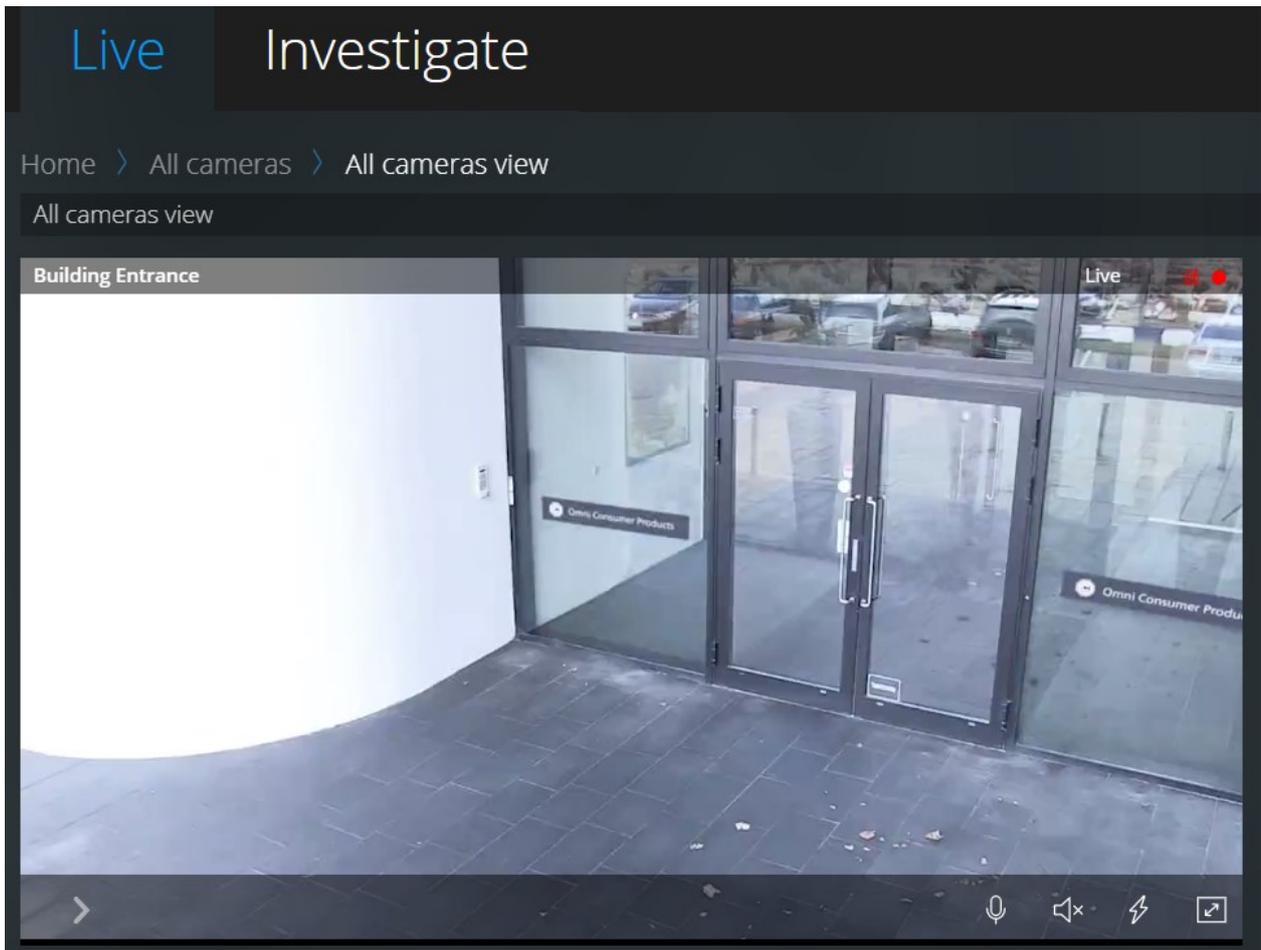
サムネイルストリップ³にて：

- ビューですべてのカメラからのライブビデオを確認してください
- どのカメラにマイクが付随しているのかを確認します
- どのカメラがスピーカー付きかを見る。
- 他のカメラにスイッチするには、そのカメラをクリックします。
- サムネイルストリップをリサイズするには、マウスをサムネイルストリップの上まで持っていき、ストリップをクリックし、ドラッグして上げ下げします。

ビューのツールバー⁴上：

- ビュー内にある音声装置付きカメラすべてに音声配信を始めるには、 をクリックしたままホールドします。
-  をクリックして、ビュー内の全カメラの全アクションを表示します。アクションを選択して有効にします。
- ビューで、すべてのカメラからのより大きなライブビデオを見るには  をクリックします。

ライブモードで受信音声を再生



[ライブ]タブで：

1. マイクが付随したカメラを見つけてクリックします。
2. カメラ ツールバーで  をクリックして、音声の再生を開始します。

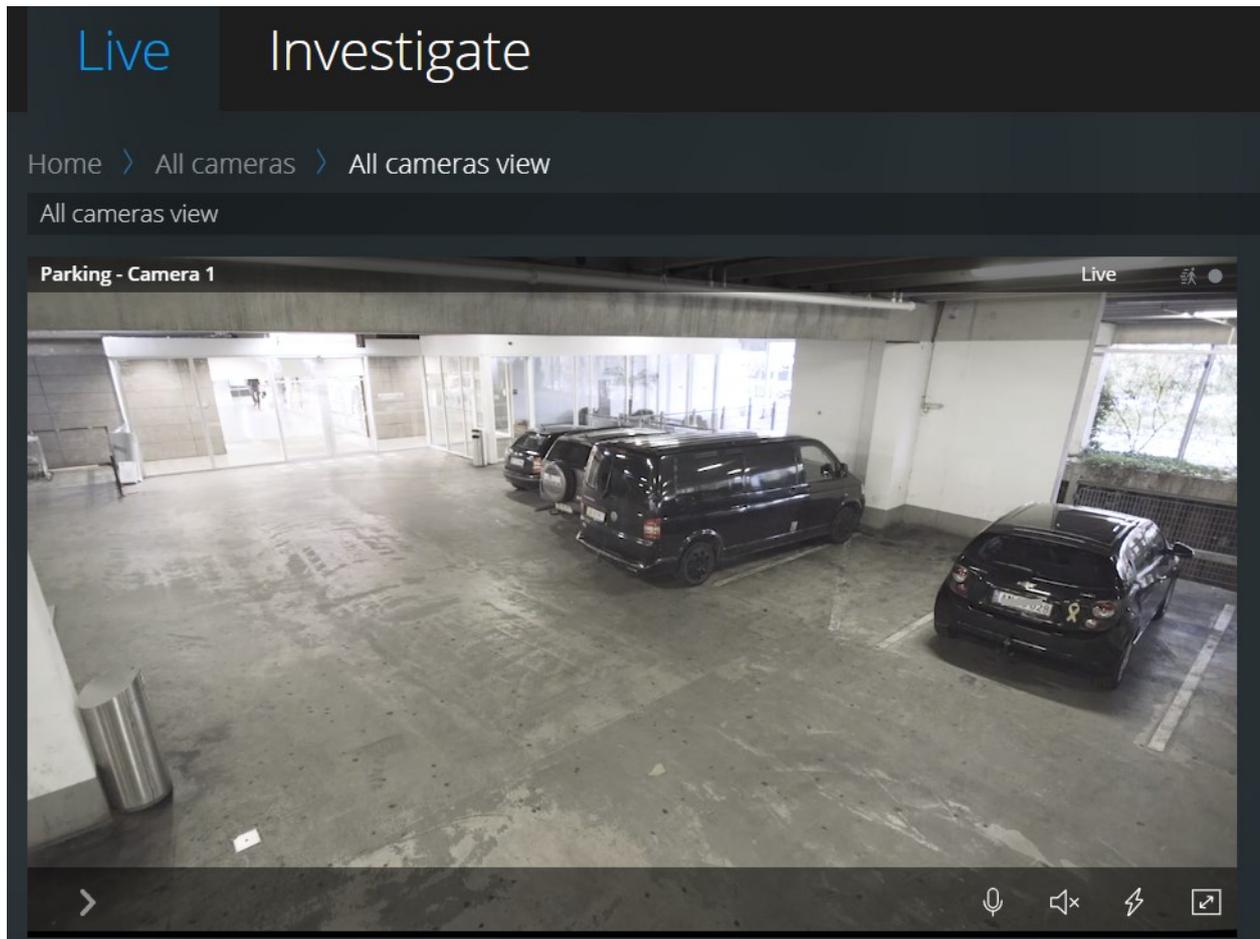
デフォルトでは、音声は消音になります。

カメラ付きマイクの場合、サムネイルストリップ上の全てのカメラは  ツールバー上に音声アイコンを持っています。



カメラに付随のマイクから入ってくるライブ音声は、もしこれらのカメラからのライブビデオストリームが無い場合でも再生可能です。

1つのカメラのライブビデオでプッシュ・トゥ・トークを使用

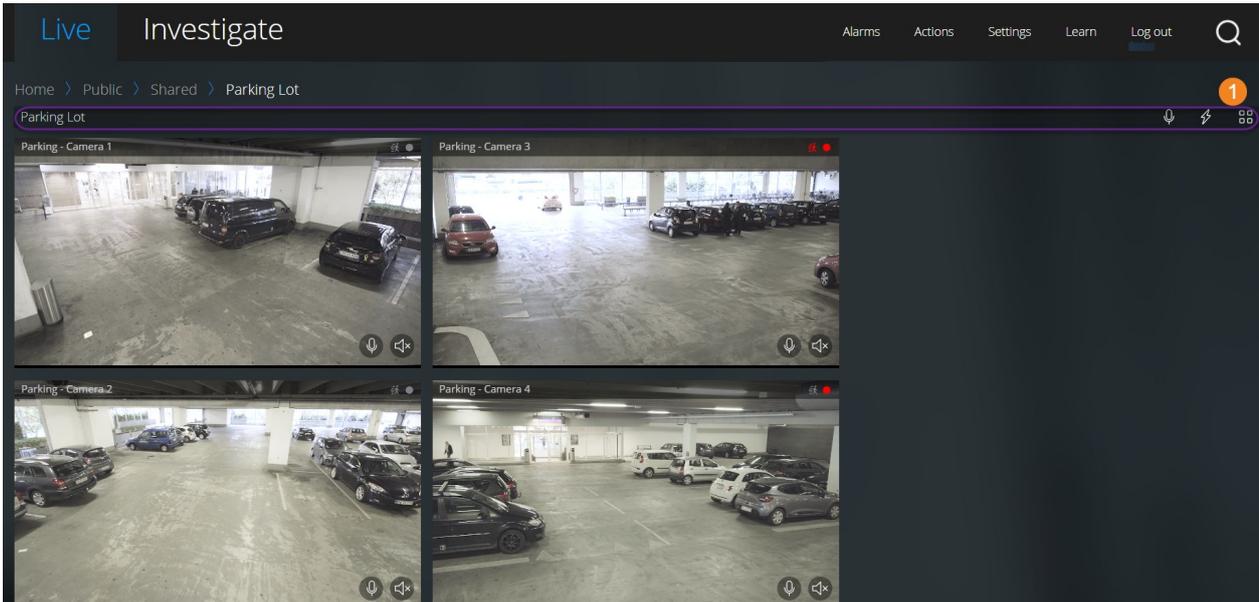


[ライブ]タブで：

1. スピーカー付属のカメラを探してクリックします。
2. カメラ ツールバーで  を長押しして、プッシュ ツー トークの使用を開始します。
3. 音声の送信を終了したい時は  をリリースします。

カメラがスピーカー付属の場合、サムネイルストリップ上の全てのカメラは  ツールバー上にプッシュ・トゥ・トーク (PTT) アイコンがあります。

ライブビデオ内の複数のカメラに音声を配信する



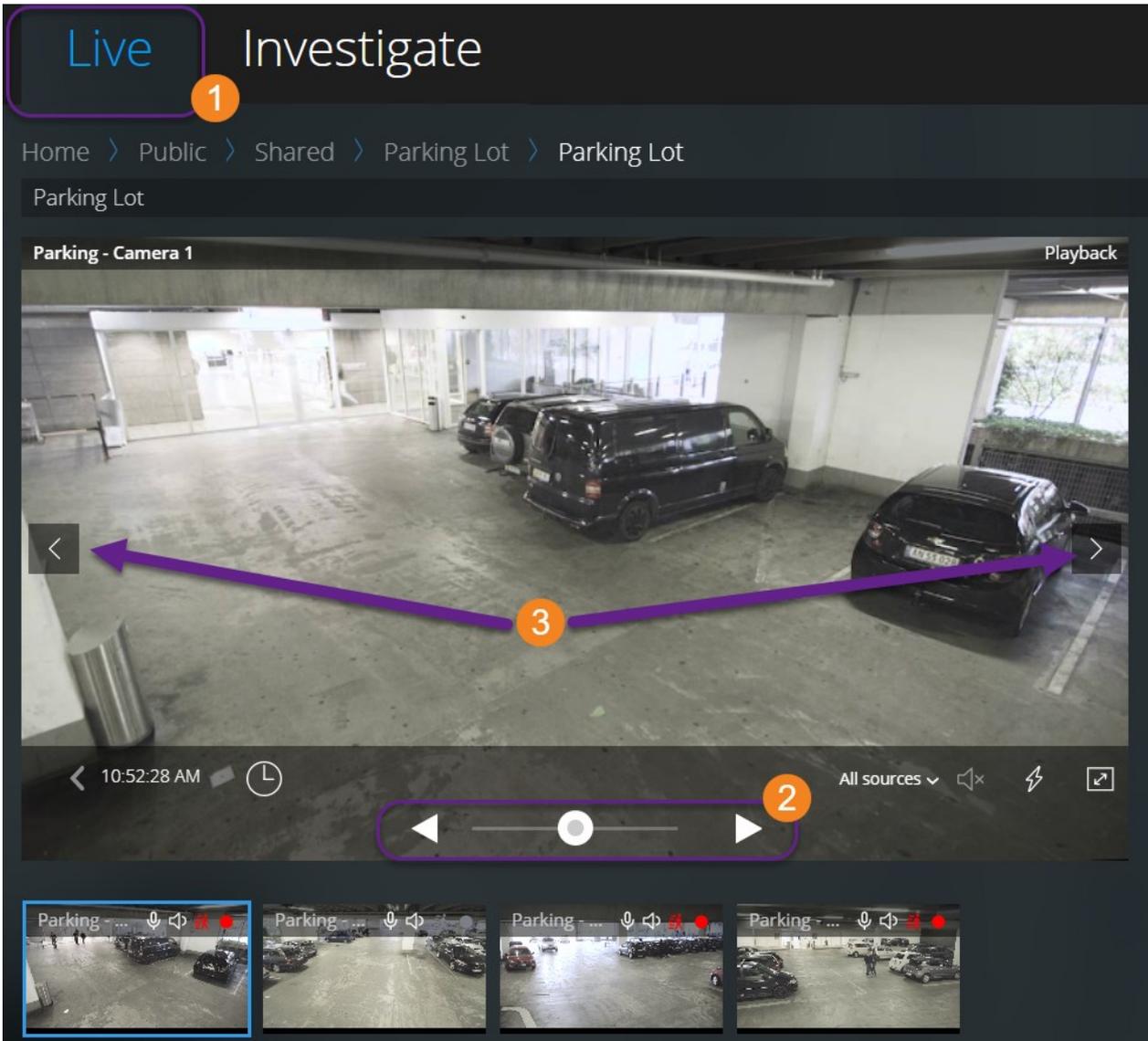
[ライブ]タブで：

1. ビューを選択します。
2. ビュー内のスピーカー付きカメラすべてに音声を配信するには、ビューのツールバー①上で、 をクリックしたままホールドします。
3. 音声の配信を終了するときに をリリースします。

1台のカメラから録画を再生する



1台のカメラからの映像は、[ライブ]タブと[調査]タブどちらからでも再生できます。



ライブタブで①：

1. カメラを見つけ、クリックします。
2. カメラツールバーで、[▶]をクリックし、ライブビデオを停止します。
再生コントロールバーが現れます。

再生コントロールバー②：

アイテム	可能なアクション
	左にドラッグして巻戻しするか、右にドラッグして早送りする。 デフォルトでは、シャトルが真ん中に位置している時は、再生スピードは通常です。
	ビデオを再生または逆再生する。
	前または次の画像を見る ³ 。
	クリックしてタイムピッカーを開き、過去の日付および時刻を指定し、ビデオを再生する。
	録画がいつ行われたのかを確認する。
	ビデオ録画に録音された音声の再生を開始または停止します (ページ6の受信音声の再生条件 を参照)。
	ビデオ録画が双方向音声の場合に、再生したい音声ソースを選択します (ページ6のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件 、 ページ28のビデオ録画における音声の再生 (説明付き) を参照)。

調査タブ：

1台のカメラからの録画を再生したいが、選択したグループに複数台のカメラがある場合、必要のないカメラを削除することができます。これを行うには、[ページ35の再生する映像から、必要のないカメラを削除できます](#)。の手順に従います。

1台のカメラからの録画を再生するには：

1. カメラタイムラインバーで、再生するビデオの時間を指定してください。
2. ビデオを逆再生または再生するには、またはをクリックしてください。
3. オプション。通常のスピードでビデオ録画を再生する際に、をクリックして受信音声の再生を開始し、をクリックして停止します(マイク付きカメラのみ)。
4. オプション。音声の再生はをタップして開始し、をタップして停止します(マイクとスピーカー付きカメラのみ)。ビデオ録画が双方向音声の場合に、再生したい音声ソースを選択します ([ページ28のビデオ録画における音声の再生 \(説明付き\)](#) を参照)。



ビューを拡大するには、拡大したいカメラにカーソルを当てて、右上の  をクリックするか、またはカメラのサムネイル自体をクリックします。デフォルトのビューに戻るには、**Esc**キーを押すか、または右上の  をクリックします。

ビデオ録画における音声の再生（説明付き）

XProtect Web Clientでは以下が可能です：

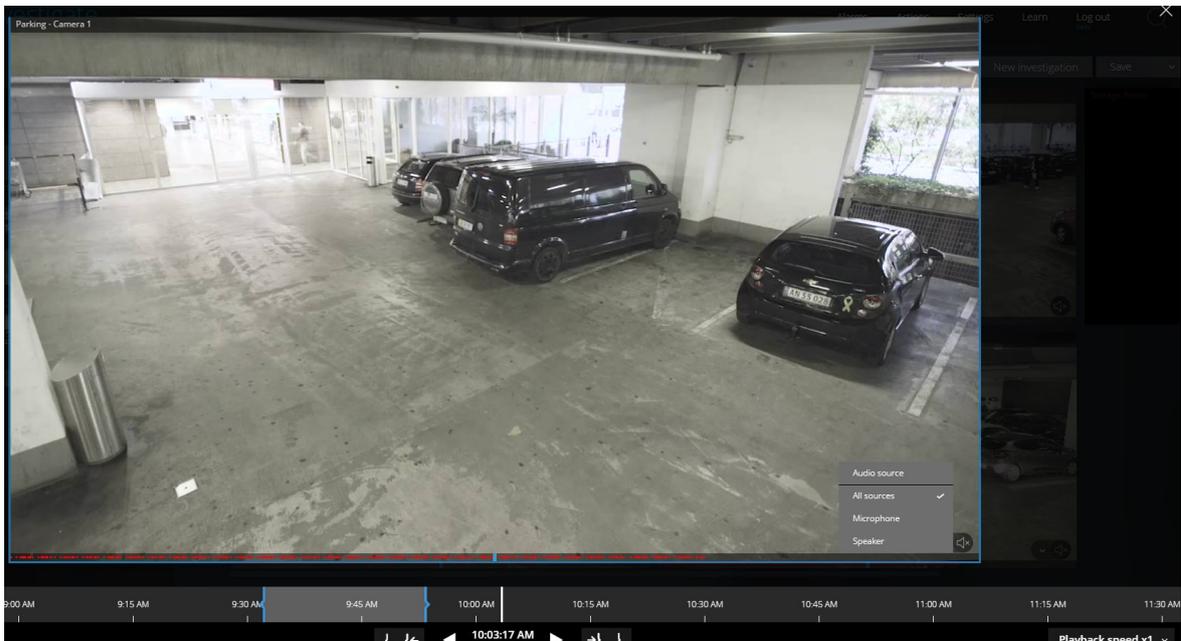
- ライブモードでのカメラ録画から音声の再生
- 調査モードでのカメラ録画から音声の再生

カメラツールバーで：

- 録音した受信音声を再生するには、ビデオ録画の再生中に  をクリックして音声の再生を開始します



- 録音した受信音声と送信音声を再生するには、 をクリックして音声の再生を開始します。[音声ソース]リストで、ビデオ録画の再生中に再生したい音声デバイスを選択します。オプションは以下のとおりです。
 - [すべてのソース] (デフォルト) - 録音された受信音声と送信音声の両方を再生します
 - [マイク] - 受信音声のみを再生します
 - [スピーカー] - 送信音声のみを再生します



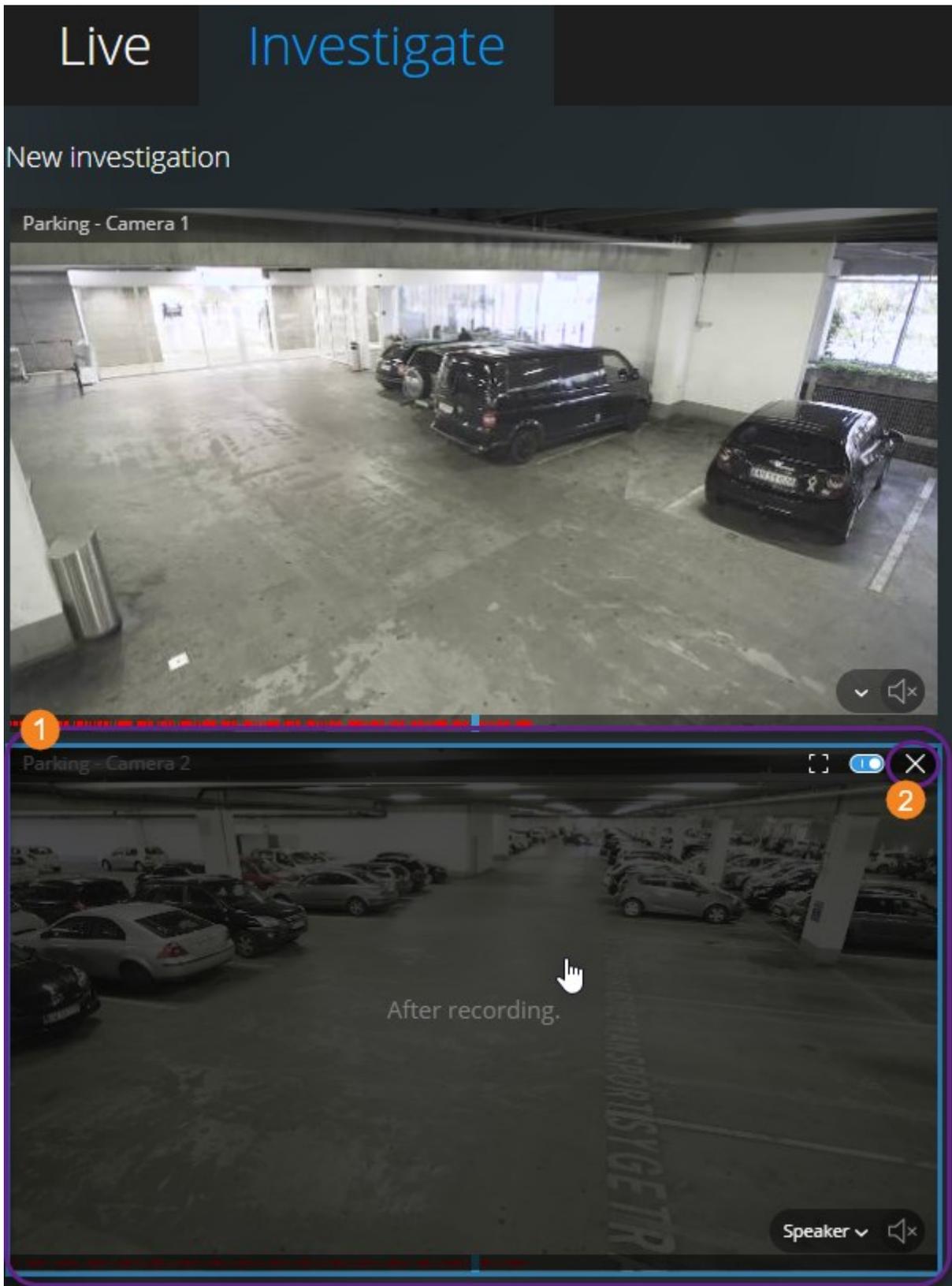


音声の再生は、ビデオ録画が存在し、録画を通常のスPEEDで再生する場合にのみ可能です。

複数のカメラからの録画映像（説明付き）

調査 タブで、調査を作成することなく録画映像を再生できます。

カメラのビュー画面の下の、赤い連続した線①は、ビデオ録画がある時間を表します。



このモードでは以下が可能です:

- 再生したいカメラを選び、指定された時間帯の録画がないカメラを削除します **2**（ページ35の再生する映像から、必要のないカメラを削除できます。を参照）
- 再生したい録画の時間を指定します（ページ32の再生するビデオの時間を指定するを参照）
- 録画のタイムスパンを指定します（ページ36の調査タイムラインの使用（説明付き）を参照）
- 選択したカメラグループのすべてのカメラから録画を同時に再生します
- 選択したカメラグループの特定のカメラのビデオ録画とともに音声再生を開始するか停止します（ページ28のビデオ録画における音声の再生（説明付き）を参照）

再生するビデオの時間を指定する

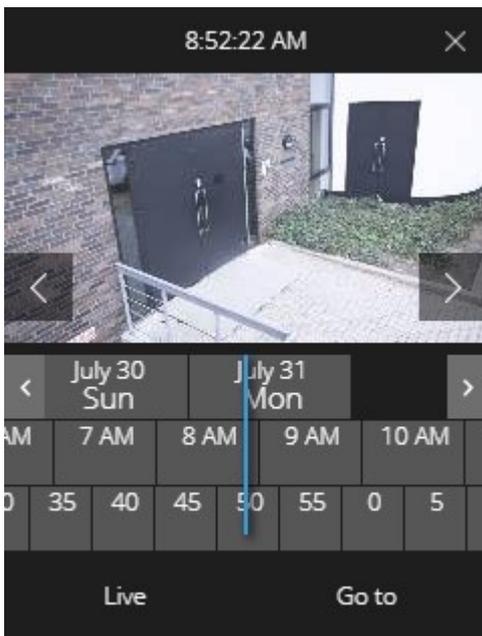


特定の時間からビデオを再生するには、タイムピッカーを使用してください。タイムピッカーは、[ライブ]タブと[調査]タブのどちらからでも見つけられます。

[ライブ]タブで：

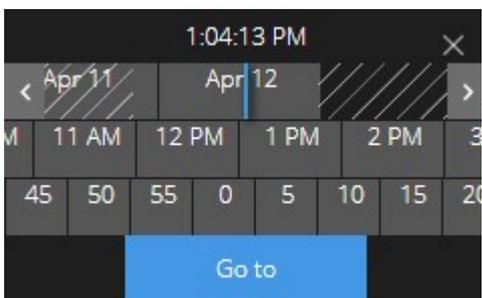
1. カメラを見つけ、クリックします。
2. カメラツールバーで、をクリックし、ライブビデオを停止します。
再生コントロールバーが現れます。

- 再生コントロールバーで、をクリックし、タイムピッカーを開きます。



調査タブ：

- タイムラインバーで、をクリックし、タイムピッカーを開きます。

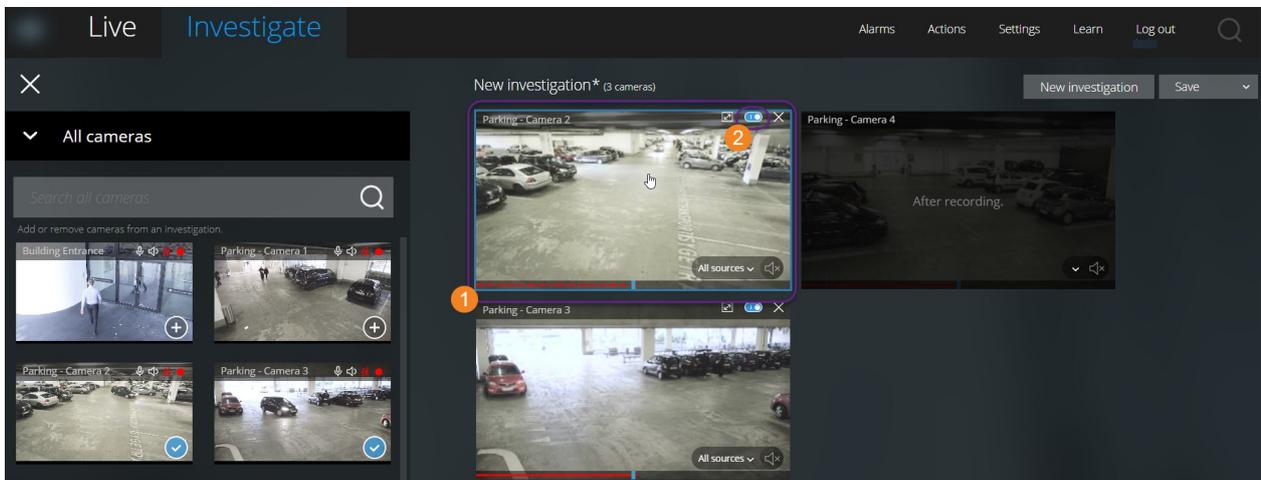


 タイムピッカーをクリックしてドラッグすることで、画面上の位置を変更できます。

アイテム	可能なアクション
	前や次のイメージを見る。(ライブタブ上のタイムピッカーに限る)。

アイテム	可能なアクション
	1週間戻る、または進む。
	日付を指定するには、日付スクローラーを左か右にドラッグしてください。青い時間インジケータが、選択された日付を表します。
	時刻を指定するには、時間スクローラーを左か右にドラッグしてください。青色の時間インジケータが、選択された時間を表します。
	分を指定するには、分数スクローラーを左か右にドラッグしてください。青い時間インジケータが、選択された分数を表します。
移動する	指定した時間からビデオを再生するには、クリックしてください。
ライブ	ライブビデオに戻るにはクリック (調査タブ上のタイムピッカーに限る)。

再生をオンまたはオフにする



[調査] タブの調査内で以下を行ってください。

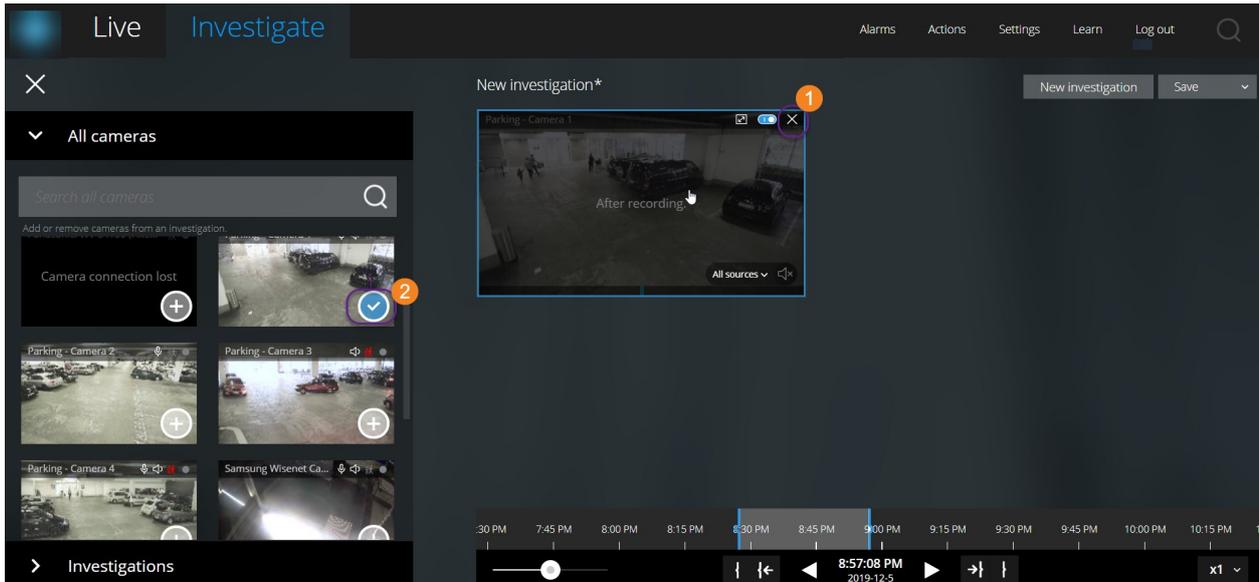
1. 再生を有効または無効にしたいカメラ **①** の上にカーソルを当てます。

2. ビデオ画面の左上 **②** で、 をクリックして再生をオンまたはオフにします。

再生する映像から、必要のないカメラを削除できます。



「映像を再生する前に、指定した時間帯に録画映像が含まれていないカメラを削除したいです。どうすればできますか。」



[調査]タブでは、以下の場合にカメラグループから不要なカメラを削除できます:

- カメラ^①の上にカーソルを置き、右上で  をクリックする
- サイドパネルで  をクリックする
- サイドパネルで削除したいカメラをダブルクリックする

調査エリア内のカメラ (説明付き)

ライブモードで複数のカメラを見ている時に調査モードに切り替えると、同じ複数のカメラが調査エリアに現れません。



[調査]タブでは、閲覧画面またはグループ内で閲覧することができるのは、個々のカメラのみです。複製されたカメラは調査エリアには表示されません。

例:

- [ライブ]タブ上の[プライベート]フォルダーにいる場合:[調査]タブをクリックすると、[プライベート]フォルダー内にある全てのカメラが調査エリアに表示されます。
- [ライブ]タブ上の[ホーム]ページにいる場合。調査タブをクリックすると、システム上のすべてのカメラが調査エリアに表示されます。

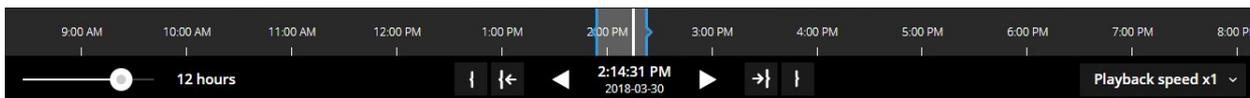
作成した調査で受信音声と送信音声を再生するには、以下を行う必要があります:

- 音声装置（マイクとスピーカー）の付いているカメラを追加します（[ページ6の受信音声の再生条件とページ6のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件](#)を参照）
- 通常で速度でビデオ録画を順方向に再生します（[ページ28のビデオ録画における音声の再生（説明付き）](#)を参照）

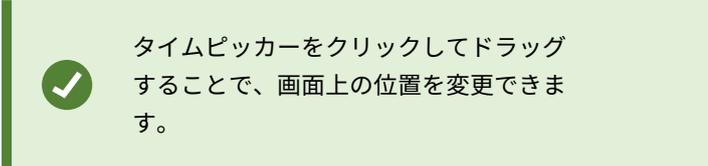
調査タイムラインの使用（説明付き）

調査内のタイムラインバーで、以下を指定できます。

- 調査対象の録画時間
- 調査対象の時間帯



アイテム	可能なアクション
	録画時間を変更する場合、タイムラインスクローラーを左か右にドラッグしてください。タイムラインスクローラー内にある白い時間インジケータが、選択された時間を表します。
	ビデオを再生または逆再生する。
	<ul style="list-style-type: none"> • ビデオの再生が行われた時間を確認する • タイムラインバーのこのエリアをクリックすると、タイムピッカーが開きます。調査やダウンロードを行いたい録画の時間を選択するには、タイムピッカーが使用できます。（ページ32の再生するビデオの時間を指定するを参照。）

アイテム	可能なアクション
	 <p>タイムピッカーをクリックしてドラッグすることで、画面上の位置を変更できます。</p>
	<p>青い時間帯マーカをクリックし、ドラッグして、調査またはダウンロードしたい録画の開始時刻と終了時刻を指定します。</p>
	<p>調査の開始または終了時刻と選択した時間を揃えてください。</p>
	<p>選択した時間と調査の開始または終了時刻を揃えてください。</p>
	<p>タイムラインバーの右下の[再生速度]リストから、映像の再生速度を選択します。デフォルト値はx1です。</p>
	<p>タイムラインバーの左下のスライダーをドラッグして、時間帯を変更します。この機能によって、ビデオを再生またはダウンロードする詳細な時間帯を設定できます。</p>

1つかそれ以上のカメラで調査を作成する

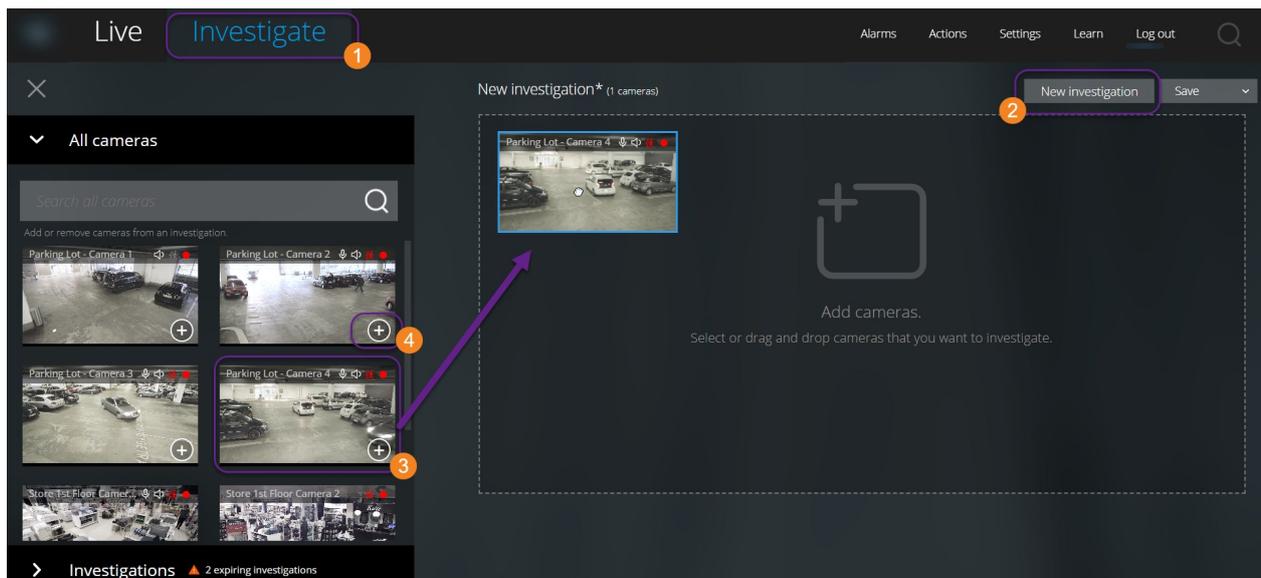
	<p>「オフィスにあるすべてのカメラからの、昨日の午前9時30分頃からの録画映像を調査したいので、1ヶ月分の録画を保管したいです。」</p>
---	--

以下の場合、調査を作成してください：

- ビデオ録画がすでにシステムデータベースから削除されていても、その映像を回数制限なく好きなだけ再生するため、保存期間より長く録画映像を保管したい

 デフォルトで、システムデータベース内のビデオ録画の保存期間は7日間です。有効にすると、モバイルサーバーでの調査の保存期間もデフォルトで7日間になります（[ページ11の録画および調査の保存期間と保管（説明付き）](#)を参照）。

- 将来的に、ビデオ録画をエクスポートし、ダウンロードし、当局と共有したい。



調査タブで①：

1. **新しい調査**②をクリックします。
 サイドパネルが左側に開きます。
2. サイドパネルの[すべてのカメラ]で、調査したいカメラを参照して検索できます。
3. 以下を行うことで、1台または複数のカメラを追加できます：
 - 調査したいカメラ③をすべてクリックし、[新しい調査]エリアにドラッグ&ドロップします。
 - 追加したい各カメラ④の右下にある  をクリックします。

- 追加したいカメラをダブルクリックします。

最高18台のカメラを調査に追加できます。調査したいカメラのビューにもっと多くのカメラが含まれている場合は、2つのオプションがあります。



- **カメラの追加**を選択すると、最初の18台のカメラを調査に追加できます
- **空の調査を開く**を選択すると、調査に追加するカメラをカスタマイズできます

- タイムピッカーを使って、調査したい録画映像の時間を指定してください。

選択した時間は、新しい調査に追加したカメラすべてに適用されます（[ページ32の再生するビデオの時間を指定する](#)を参照）。

- タイムラインバーを使って、再生したい録画映像のタイムラインを指定してください。

選択したタイムスパンは、新しい調査に追加したカメラすべてに適用されます（[ページ36の調査タイムラインの使用（説明付き）](#)を参照）。

- [保存]** リストで **[名前を付けて保存]** を選択します。

[調査を保存する] フォームが開きます。

- [調査名]** 欄には、新しい調査の名前を入力してください。

- OK** をクリックします。

新しい調査の設定が保存されます。



ビューを拡大するには、拡大したいカメラにカーソルを当てて、右上の  をクリックするか、またはカメラのサムネイル自体をクリックします。デフォルトのビューに戻るには、**Esc** キーを押すか、または右上の  をクリックします。

カメラを既存の調査に追加



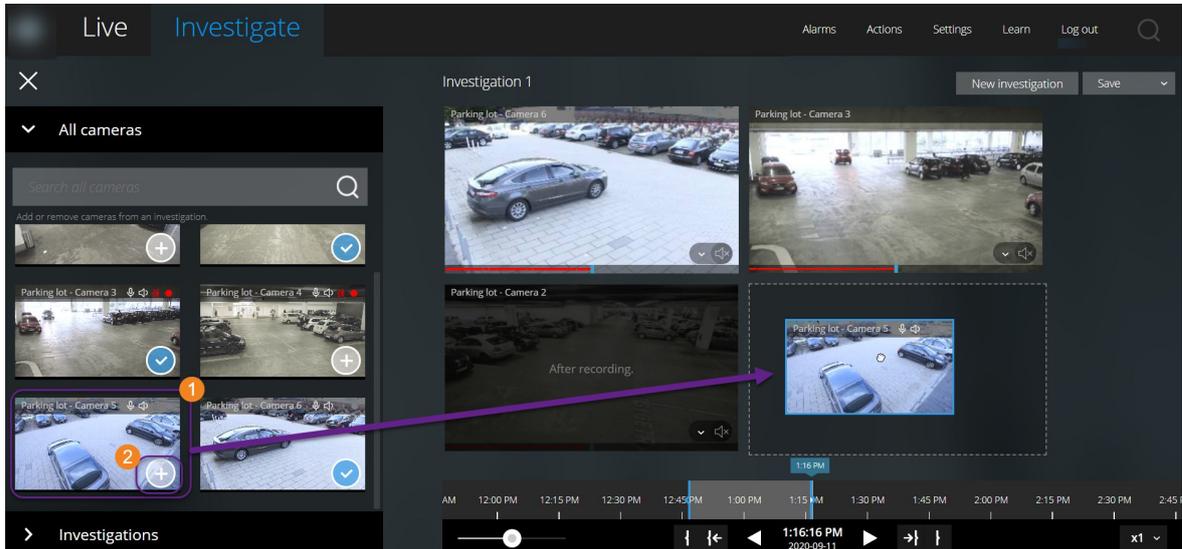
「既存の調査にもっとカメラを追加したいです。どうすればできますか。」

[調査] タブで  をクリックしてサイドパネルを開きます。

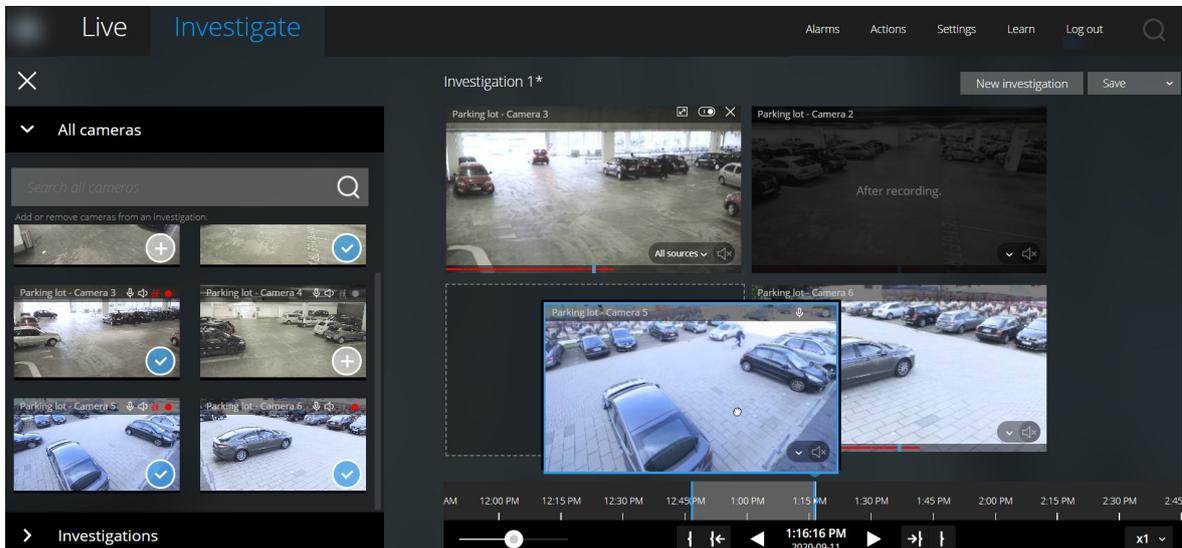
1. サイドパネルで **【調査】** をクリックします。
2. さらにカメラを追加したい調査まで進み、調査名をクリックします。
3. サイドパネルで **【すべてのカメラ】** をクリックします。 **【すべてのカメラ】** エリアに、利用可能なすべてのカメラがサムネイルとして表示されます。

4. 追加したいカメラまで移動します:

- カメラ①をクリックして、調査エリアにドラッグ&ドロップ
- 各カメラの右下でをクリック②
- 追加したいカメラをダブルクリックします。



1. (オプション) 調査でカメラの順番を変更するには、動かしたいカメラをクリックしてドラッグ&ドロップします。



[全てのカメラを検索する]欄で、名前でカメラを検索できます。



右下のチェックボックスが選択されている場合は、カメラはすでに追加されています。



5. **保存**をクリックします。
6. ドロップダウンリストから、**[保存]**を選択します。

既存の調査からカメラを削除する



「複数の映像をダウンロードしたいが、カメラ1には関連する映像が録画されていません。調査から削除するにはどうしたらよいですか。」

既存の調査の[調査]タブで以下を行います:

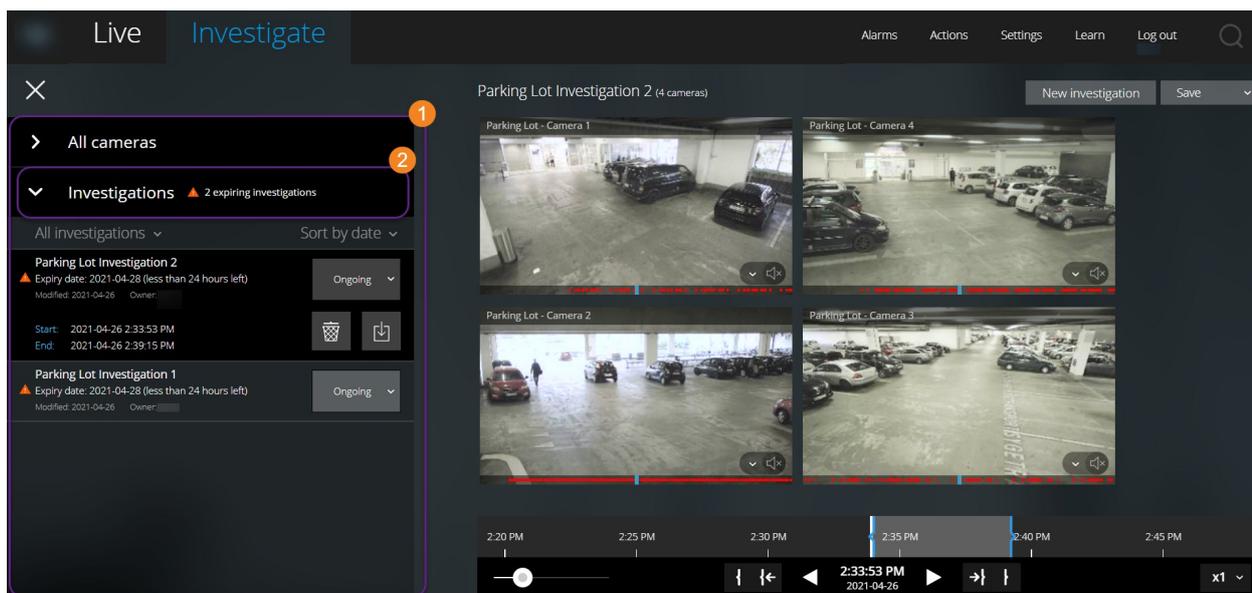
1. 調査から削除したいカメラにカーソルを当てます。
2. 調査からカメラを削除するには、右上①の  をクリックします。
3. **保存**をクリックします。
4. ドロップダウンリストから、**[保存]**を選択します。

すべてのカメラでカメラグループビューを開いて、カメラを調査から削除することもできます（[ページ35の再生する映像から、必要のないカメラを削除できます。](#)を参照）。

調査を更新または削除する



「既存する1つの調査の名前と状態を更新し、もう1つの調査を削除したいです。どうすればできますか。」



[調査]タブで  をクリックしてサイドパネルを開きます。

サイドパネル①で：

1. **[調査]** ② をクリックすると、すべての調査が表示されます。
2. **自分の調査**リスト内で、更新または削除したい調査を見つけ、クリックします。

アイテム	可能なアクション
[調査名]	クリックして既存の調査の名前を変更する。
有効期限	調査の保存期間が有効になっている場合は、調査の有効期限を確認します。
	調査を削除する。
	選択したビデオフォーマットで、調査の準備と、調査をダウンロードします（ ページ44の映像のエクスポートとダウンロードを準備する を参照）。
	調査の状態を [進行中] または [完了] に手動で設定する。
	以下によって、調査を分類する： <ul style="list-style-type: none"> • 日付。リスト上部にあるで、直近の調査を閲覧する。 • 状態。リスト内の進行中の調査を最初に、そして完了した調査を最後に閲覧します



調査を開き、調査に追加済みのカメラに接続された音声デバイスを切り替えると、以前接続されていた音声デバイスの音声が再生されます。アップデートを完了させてから新しい音声デバイスの音声を再生を開始するには、最初にXProtect Web Clientを再起動し、**[保存]**をクリックしてこの調査を更新します(マイクまたはスピーカー付きカメラのみ)。

映像のエクスポートとダウンロードを準備する



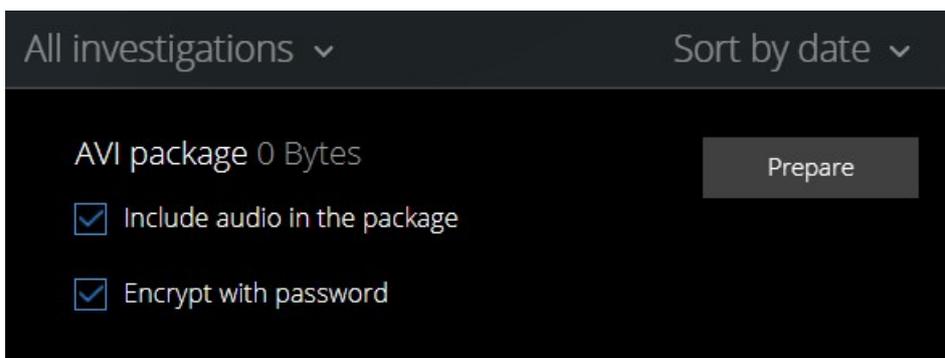
「自分の調査をダウンロードして、後日警備員に見せたいです。どうしたらよいでしょう。」



映像をエクスポートする準備およびダウンロードするには、特定のユーザ権限を保持している必要があります。エビデンスビデオを共有する際は、所属企業の規約に従ってください。

調査タブ：

1.  をクリックします。
2. 該当する調査を開きます。
3. ダウンロードしたい調査をクリックします。
4.  をクリックします。
5. (オプション) 音声が含まれているビデオエクスポートパッケージを準備するには、**パッケージに音声を含める**チェックボックスを選択します。デフォルトでは、チェックボックスが選択されています。
6. (オプション) ビデオのエクスポートパッケージを暗号化するには、**パスワードで暗号化**チェックボックスを選択します。デフォルトでは、チェックボックスが選択されています。



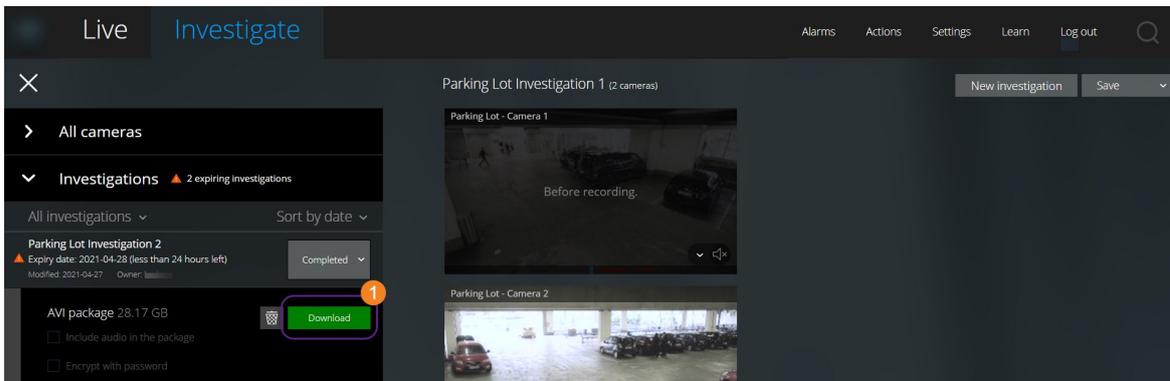
7. 希望するフォーマットで映像をダウンロードするには、**[準備する]**をクリックしてください。



後で映像をエクスポートする準備をしたり、ダウンロードできます。準備されたエクスポートでは、調査に追加されたカメラの数と、録画映像の数が異なる場合があります。その理由として、そのカメラの指定した時間帯に録画映像が存在しない場合があるからです。

8. (オプション) ダイアログボックスでパスワードを作成し、エクスポートを暗号化して**設定**をクリックします。パスワードは、現在のパッケージエクスポートにのみ適用されます。

9. 準備されたビデオのエクスポートをダウンロードするには、**1**をダウンロードをクリックしてください。ブラウザのダウンロードフォルダー内にダウンロードされたファイルがあります。

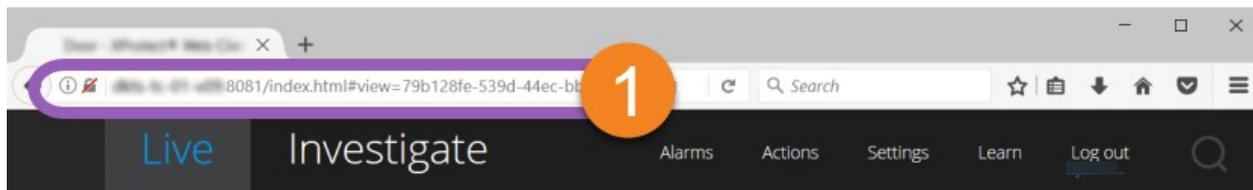


利用可能な映像フォーマットは以下の通りです：

フォーマット	説明
AVIパッケージ	大半のメディアプレイヤーで採用されている標準的ファイルフォーマットです。迷っている場合は、こちらを選択してください。
XProtectパッケージ	XProtect Smart Client - Player形式を表示できるのはXProtectのみです。
MKVパッケージ	録画カメラが使用するコーデックを選択します。必要なコーデックがインストールされている場合のみ映像を再生できます。

XProtect Web Clientページの共有（説明付き）

「私の同僚は他のオフィスで働きます。私がXProtect Web Clientで見ているものと同じものを別の人に見せるには、どうすれば一番早くできますか」

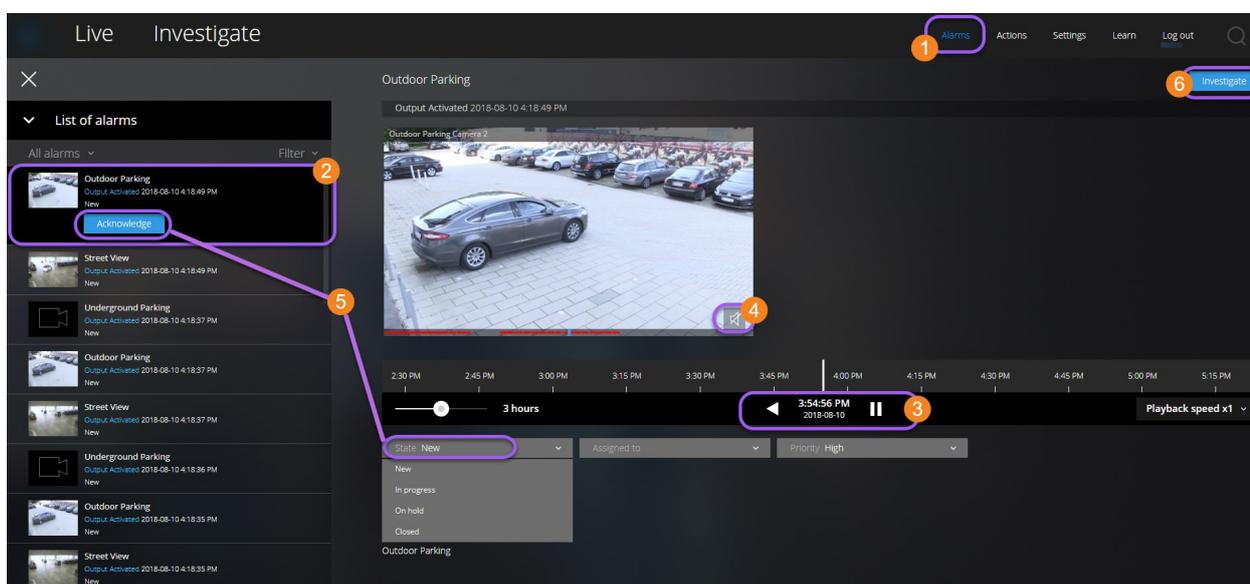


XProtect Web Clientのページ一つひとつに、固有のインターネットアドレスがあります^①。そのアドレスは、他のユーザーとの共有が可能です。ユーザーがWebブラウザ上でそのアドレスに進み、ログインすると、ユーザーは、あなたが共有したページを見ることができます。

アラームを表示



「カメラ3が午後4時前後に動作を検知し、アラームが送られてました。強盗のようです。実際に何が起こったのかを見て、ビデオを警備員に見せたいと思います。」



アラームタブ^①で：

1. 閲覧したいビデオのアラーム^②を探してクリックします。[フィルター]リストでは、アラームを状態別または優先度別にフィルタリングできます。
2. ビデオを逆再生または再生し、閲覧しているのイメージが撮影された時間を確認します^③。
3. 通常スピードでビデオ再生をしている場合、ビデオ再生のために音声再生を開始または停止します^④（[ページ28のビデオ録画における音声の再生（説明付き）](#)を参照）。
4. 認識ボタンをクリック、あるいは別のアラームステータスオプションをリストから選択して、アラームのステータスを変更します^⑤。
5. ビデオを後で見るため、または他者と共有するために保存するには、[調査]をクリックします^⑥。
6. 「[ページ44の映像のエキスポートとダウンロードを準備する](#)」の手順を実行します。

他にアラームを起動し得るものとは？

- カメラが動作を停止した。
- 窓ガラスが砕けた、または壊れた。
- ロッカーに侵入された。
- カメラでブラックリストに入っているナンバープレートが確認された。

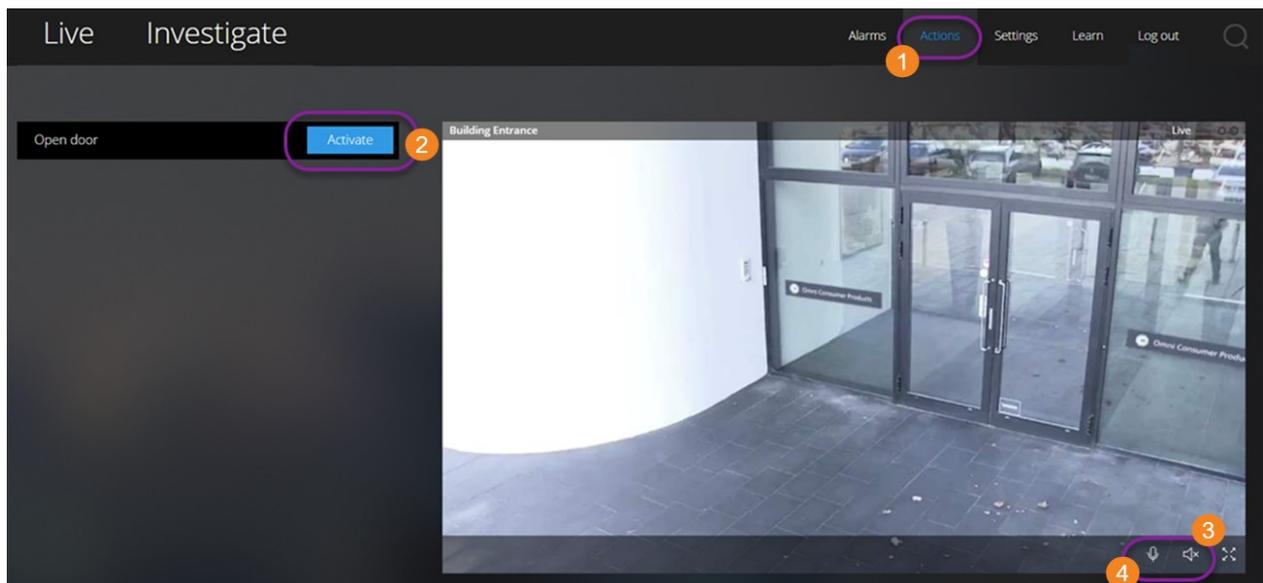


アラームを閲覧するには、システム管理者にアラームを設定し、また十分なユーザー権限をあなたに与えるよう依頼してください。

アクションの有効化



「来客者のために、フロントドアがボタンのプッシュで開くようにしたいです。」



アクションを有効化することにより、ビデオ監視システムでイベントが起動されます。たとえば、フロントドアを開いた（アクション）とき、カメラ3がビデオの録画を開始（イベント）します。

[アクション] ①タブを開きます：

1. 有効化したいアクションを見つけます。
2. たとえば **[アクティベート]** ②をクリックすると、玄関ドアが開きます。
3. オプション。ライブ インカム音声 ③をスタートまたはストップします（スピーカー付きカメラのみ）。

4. オプション。  プッシュ・トゥ・トークをスタートするには、クリック & ホールド 音声の送信を終了するには、  アイコンをリリースします  (スピーカー付きカメラのみ)。

ライブビデオを見る際は、**ライブ**タブのアクションも有効にできます ([ページ20のライブビデオを見る \(説明付き\)](#) を参照)。

アクションの例にはどのようなものがありますか？

- ドアの開け閉め。
- 電灯のオン/オフ。
- サイレンの有効化/無効化。



アクションを表示し、有効化するには、システム管理者にアクションの設定をし、また十分な権限をあなたに与えるように依頼してください。

PTZコントロール

マウスを使用して、PTZ (パン/チルト/ズーム) カメラを動かす方法を選択します。

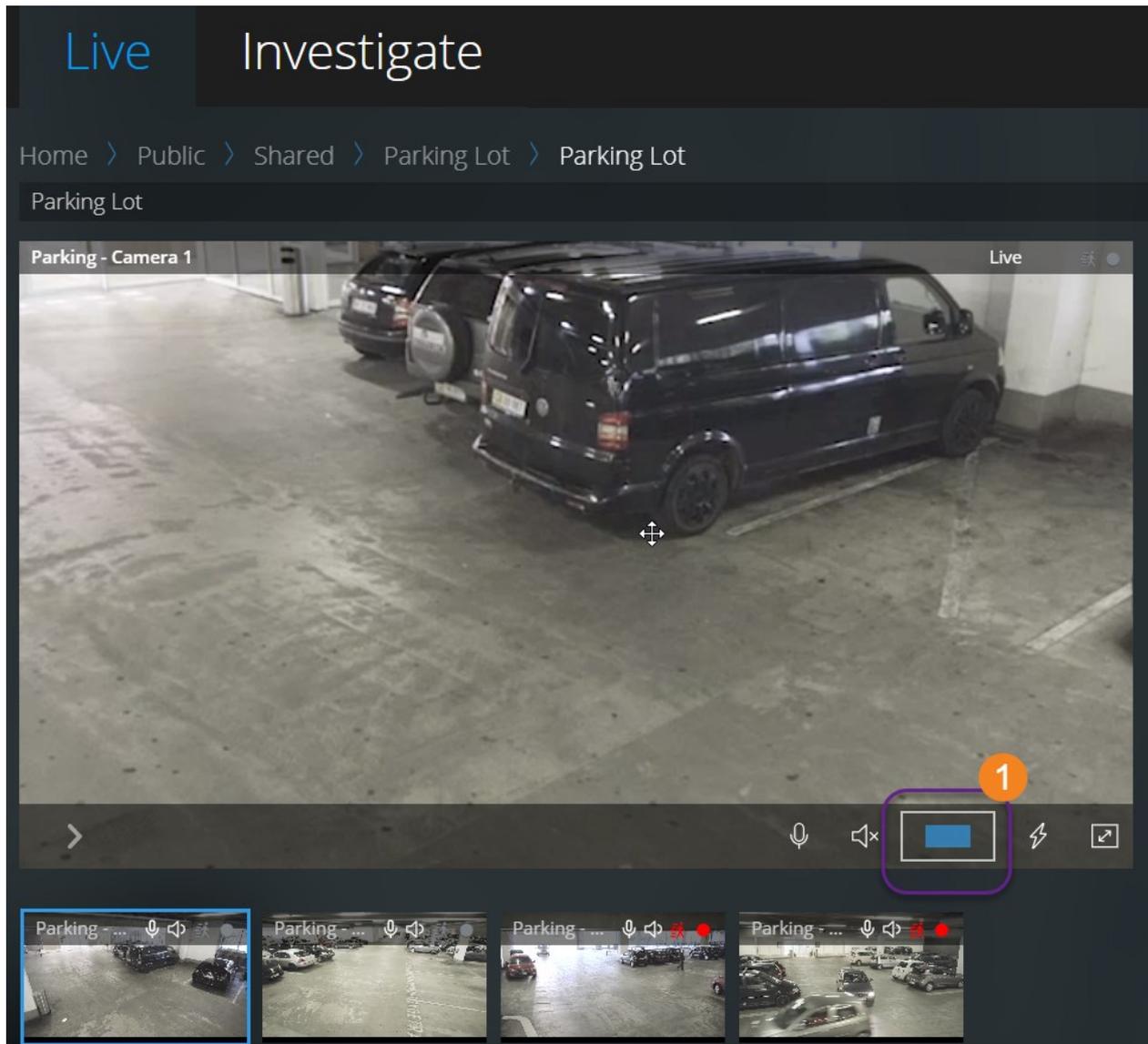
スワイプ：

1. ビデオの上にカーソルを動かします。
2. マウスの左ボタンをクリック・アンド・ホールドします。
3. マウスをドラッグし、左ボタンから指を離します。

タップしてホールド：

1. ビデオの上にカーソルを動かします。
2. マウスの左ボタンをクリック・アンド・ホールドします。
またはマウスをクリック・アンド・ドラッグします。

デジタルズームの使用



1. **ライブ**タブでカメラを見つけてクリックします。
2. ビデオの上にカーソルを動かします。
3. ズームイン／アウトするには、マウスでダブルクリックしてスクロールします。
4. ズームインした場合、お使いの  カーソルを興味のある領域までクリック・アンド・ドラッグします。ズームエリアインジケーター  は方向のナビゲーションに役立ちます。

光学ズームの使用（カメラが光学ズームをサポートしている場合）

1. **ライブ**タブにて、PTZカメラを見つけ、クリックします。
2. ビデオの上にカーソルを動かします。
3. ズームイン／アウトするには、マウスでスクロールします。

または  をクリックし、それから  をクリックしてズームします。



録画の最中にカメラの光学ズームを使用する場合は、ご使用のズームレベルが録画にも適応されます。

PTZ コントロールセクションでマウスを使用したPTZ（pan-tilt-zoom）カメラの動かし方をご覧ください（[ページ 49のPTZコントロール](#)を参照）。

アップグレード

XProtect Web Clientのアップデート

最新バージョンのXProtect Web Clientで作業するには、システム管理者にXProtect Mobile Serverサービスを更新するように依頼してください。



helpfeedback@milestone.dk

Milestoneについて

Milestone Systemsはオープン プラットフォームの監視カメラ管理ソフトウェア (Video Management Software: VMS) の世界有数のプロバイダーです。お客様の安全の確保、資産の保護を通してビジネス効率の向上に役立つテクノロジーを提供します。Milestone Systems は、世界の15万以上のサイトで実証された高い信頼性と拡張性を持つMilestoneのソリューションにより、ネットワークビデオ技術の開発と利用におけるコラボレーションとイノベーションを促進するオープンプラットフォームコミュニティを形成します。Milestone Systemsは、1998年創業、Canon Group傘下の独立企業です。詳しくは、<https://www.milestonesys.com/>をご覧ください。

